

**令和6年羽曳野市議会第1回定例会  
発言通告書  
(施政方針に対する代表質疑)**

【令和6年3月4日(月)】

**1. 笹井喜世子議員 (日本共産党)**

- (1) 「はじめに」より
  - ① 市民の暮らしについて
  - ② 施策づくりについて
- (2) 「安全・安心でいきいきした生活の実現」より
  - ① 防災・減災について
  - ② カーボンニュートラル達成のための計画について
  - ③ 公共交通施策について
- (3) 「子どもの笑顔あふれる次世代育成」より
  - ① 子ども・子育て施策の見直しについて
  - ② 教職員不足について
  - ③ 大阪・関西万博について
- (4) 「未来につなぐ選ばれる羽曳野の未来創生」より
  - ① 羽曳野観光局について
- (5) 「快適で潤いのある 住みよいまち」より
  - ① 歩道整備について
- (6) 「地域がつながり 安全で心安らぐまち」より
  - ① 防災訓練について
- (7) 「ともに支え合い 健やかに暮らせるまち」より
  - ① その人らしく生きられる支援体制について
  - ② 国民健康保険・介護保険について

- ③ 加齢性難聴者への補聴器購入助成について
- (8) 「未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち」より
  - ① 学校給食費の無償化について
  - ② こども園計画について
  - ③ 子育て支援事業について
  - ④ 教育の充実について
  - ⑤ 大阪・関西万博への無料招待について
- (9) 「魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち」より
  - ① 旧浅野家住宅の整備について
  - ② 農業の推進について
- (10) 「歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち」より
  - ① 国史跡通法寺跡の保存活用計画について
- (11) 「市民とともに築く 自立したまち」より
  - ① DX推進での市民や職員への影響について
  - ② 新庁舎の整備について

**2. 田仲基一議員 (自由民主党・もっと羽曳野議員団)**

- (1) 「はじめに」より
  - ① 市政運営の基本的な考え方について
    - ア 市民の声、暮らしの実態を市政に活かすためにどんな努力をしているか。
    - イ 広域自治体と基礎自治体の役割の違いをどのように認識しているか。
    - ウ 地域特性を踏まえた行政の継続性についての市長の認識について
- (2) 「安全・安心でいきいきとした生活の実現」より
  - ① 市民協働によるまちづくりについて
    - ア 自治会の担いと現状の課題、持続への問題点についてどう認

識しているのか。

イ 市民活動団体との協働をどのように行っているか。

② 地域と共に創っていく地域共生社会の重要性について

ア 新施策、施設、事業の統廃合に際し議会や地元への説明、協議する姿勢が少ないように思うが、十分と考えているか。

イ 地域共生社会の実現は重要と考えるが、そのために何が必要と考えているか。

(3) 「地域がつながり 安全で心安らぐまち」より

① 災害時物資供給、避難支援と医療救護体制への取組について

ア 市災害医療センターに資機材の計画的備蓄とあるが市災害医療センターとは。

イ 災害時避難所の避難後の運営についての計画は。

ウ 新型コロナウイルス感染症パンデミック時の教訓は医療救護体制に活かされているか。

(4) 「子どもの笑顔あふれる次世代育成」より

① 子ども・子育て支援、幼児教育・保育環境の施策展開について

ア こども園の運営にあたり幼児教育の充実はどのように行われているか。

イ こども家庭センターの権限について

② ネットリテラシー、情報活用能力の育成について

ア 専門家による的確な指導は必要と考えるが、その考えは。

③ 大阪・関西万博への対応について

ア 大阪府において学校教育活動の一環として学校単位で公費負担される予定だがその事業とは別なのか。

イ 別事業の場合、18歳以下の児童を無料招待とあるが、どこが事業負担するのか。

ウ 別事業の場合、学校事業として行うのか、家庭対応なら申請

者のみとするのか。

④ 教育の質の維持・向上のため一定の集団規模の確保について

ア 学校規模の適正化とは、小・中学校の統廃合を指すのか。

イ 教育の質の維持・向上のための集団規模とは具体的な児童数は。

(5) 「未来につなぐ選ばれる羽曳野の未来創生」より

① 訪れたい、住みたい、住み続けたい選ばれるまちについて

ア 住みたい、住み続けたいまちの条件は何と考えているか。

イ 市全体で人口減少が進む中、特に東地区で顕著であるが、原因をどう捉えるか。

ウ 地域の持続発展のためには地域内での生活環境エコシステムの充実が必要と考えるが、都市計画マスタープランはそれに沿った計画を目指しているのか。

② 世界文化遺産登録5周年への取組について

ア セミナー、ワークショップ、ウォークラリー開催とあるが、5周年事業として内外にインパクトのある事業を観光局と協働する考えはないのか。

イ 市民と共に祝うため市民活動団体との協働が必須と考えるがどうか。

③ ふるさと納税と取組について

ア 当市のふるさと納税制度による財政収支の現状は。

④ 企業立地の促進について

ア 戦略的企業立地を促進するとあるが、どのような戦略をもとにどのような組織で実行するのか。

(6) 「主要な政策」より

① コミュニティソーシャルワーカーの増員についてどのような体制を考えるか。

② 家計改善支援事業について具体的に。

- ③ 学校運営協議会制度の導入について具体的に。
- ④ 新庁舎整備について、市民の声を聞く体制を充実する考えは。  
また、本年能登地域で発生した激震災害など、他地域の罹災者の受け入れも可能とする会議室のレイアウトなど自治体間の助け合いを可能とする機能を備えたこれまでにない新しい庁舎設計を提案したいがその考えは。

### 3. 金 銅 宏 親 議員 (市民クラブ)

- (1) 「快適でうるおいのある 住みよいまち」より
  - ① 生活基盤である道路環境を適切に維持するための計画的舗装工事について
- (2) 「地域がつながり 安全で心安らぐまち」より
  - ① 高齢者や障害者の災害発生時に円滑な避難支援のための個別避難計画について
- (3) 「ともに支え合い 健やかに暮らせるまち」より
  - ① 通所型サービスC事業（短期集中予防サービス）について
- (4) 「未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち」より
  - ① 府内初の取組である小児神経専門医について
- (5) 「魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち」より
  - ① 農用地の集約化等、効率的かつ総合的な利用のための地域計画及び新規就農者育成総合対策就農準備資金の助成について
- (6) 「歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち」より
  - ① 犯罪被害にあわれた方やその家族または親族への犯罪被害者等支援条例策定について
- (7) 「市民とともに築く 自立したまち」より
  - ① 持続可能な行財政運営を確立するための新たな行財政改革大綱について

### 4. 沼 元 彩 佳 議員 (大阪維新の会)

- (1) 「はじめに」より
  - ① 新庁舎の整備について
- (2) 重点方針「安全・安心でいきいきとした生活の実現」より
  - ① 誰一人取り残さない重層的な支援体制の構築について
- (3) 重点方針「子どもの笑顔あふれる次世代育成」より
  - ① 子どもの生きる力を育む施策について
- (4) 重点方針「未来につなぐ選ばれる羽曳野の未来創生」より
  - ① まちの豊かさについて
- (5) 「快適でうるおいのある 住みよいまち」より
  - ① 羽曳野市の街づくりについて
- (6) 「地域がつながり 安全で心安らぐまち」より
  - ① 防災対策について
- (7) 「ともに支え合い 健やかに暮らせるまち」より
  - ① 高齢者のフレイル予防や認知症対策の施策について
  - ② 健康増進に向けた施策について
- (8) 「未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち」より
  - ① 子育て施策について
- (9) 「魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち」より
  - ① 当市の魅力創出と賑わいについて
- (10) 「歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち」より
  - ① 当市の歴史・文化の醸成について
- (11) 「市民とともに築く 自立したまち」より
  - ① 利便性の向上とデジタル弱者への支援について
- (12) 「羽曳野の未来創生」に向けてより
  - ① 街づくりにかける思いと市長の政治信条について

## 5. 外 園 康 裕 議員（公明党）

- (1) 「快適でうるおいのある 住みよいまち」より
  - ① 道路の陥没や損傷等の通報システム導入予定のシステムの詳細について
  - ② ボールパークをどの地域に設置予定か等について
- (2) 「地域がつながり 安心して心安らぐまち」より
  - ① 中学生を対象とした体験型防災訓練の現状と内容、今後の展開の予定等について
  - ② 災害時応援協定の現状と内容、今後の予定等について
  - ③ 個別避難計画を導入する被災者支援システムの内容等について
- (3) 「ともに支え合い 健やかに暮らせるまち」より
  - ① 重層的支援整備事業、移行準備事業の内容、実施規模、実施スケジュール等について
  - ② 家計改善支援事業の内容、実施規模、実施スケジュール等について
  - ③ 対話支援機器とは、具体的な機器は何か、導入場所、予算等について
- (4) 「未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち」より
  - ① 居宅訪問（アウトリーチ）型の支援の訪問頻度や支援の内容、従事する人材、予算等について
  - ② 子育て世帯訪問支援事業の訪問頻度や支援の内容、従事する人材、予算等について
  - ③ 学校規模の適正化と全体構想やスケジュール等について
- (5) 「魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち」より
  - ① 旧浅野家住宅の全体スケジュール等について
- (6) 「歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち」より
  - ① 犯罪被害者等支援条例の条例案上程の背景等について
- (7) 「市民とともに築く 自立したまち」より

- ① オンライン申請・届出システムの内容と背景、介護事業者以外への展開予定等について